

分担金・拠出金の名称	APECビジネス諮問委員会(ABAC) 拠出金	評価	B
拠出先の国際機関名	APECビジネス諮問委員会(ABAC)		
国際機関の概要	APECビジネス諮問委員会(ABAC)は、APECメンバーエコノミーの首脳が指名したビジネス界の代表で構成されるAPEC唯一の公式民間諮問機関。1995年のAPEC大阪会合でAPEC首脳がビジネス界の声を直接聞くメカニズムとしてABACの設立を決定、翌1996年から活動を開始した。		
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標	達成状況		
<p>1. (1) 成果目標: アジア太平洋地域のビジネス界、とりわけ日本ビジネス界の要望をAPECの活動に反映し、日本の経済と企業活動に資する地域の貿易・投資の自由化・円滑化を促進する。</p> <p>活動指標: ABAC委員とAPEC首脳や高級実務者との対話の実施、APEC首脳・閣僚への提言及び同提言のAPECの取組への反映</p>	<p>日本を含むAPECエコノミーのビジネス界の代表から構成されるABACでは、ビジネス界の要望をAPEC側に直接届けるべく、毎年APEC首脳や同高級実務者との対話を実施するとともに、首脳・閣僚に対し提言を提出している。ABACは、こうした一連の活動を通じ、これまでにAPECビジネストラベルカード(ABTC)や環境物品の関税引き下げ等、日本の企業活動にとっても有益な地域の貿易・投資の自由化・円滑化の促進に向けた先進的な取組をAPECの取組として実現させてきている。</p>		
<p>(2) 成果目標: ABACにおける我が国の発言力・影響力を確保する</p> <p>活動指標: ABAC日本委員の貢献(部会長、副部会長としての活動)</p>	<p>APEC各エコノミーは、最大3人までABAC委員を出すことが可能であり、我が国は3人のABAC日本委員を出している。右3名は、各々金融・経済作業部会の部会長、持続可能な発展作業部会及びコネクティブィー作業部会の副部会長を務めており、我が国のABACに対する発言力・影響力は極めて大きく、また、確保されている。</p>		
<p>(3) 成果目標: アジア太平洋地域におけるビジネス界の意見を集約し、APECの活動への反映を通じ、同地域における貿易・投資の自由化・円滑化を促進する。また、ABACが適切な組織・マネジメントを行う。</p> <p>活動指標: ABAC総会・各作業部会の開催、ABAC委員とAPEC首脳や高級実務者との対話、APEC首脳・閣僚へのABACの提言及び同提言のAPECの取組への反映、ABACの財政マネジメント向上努力。</p>	<p>ABACはAPEC唯一の公式民間諮問機関として、毎年APEC首脳や同高級実務者との対話を実施するとともに、首脳・閣僚に対しビジネス界の視点に基づく提言を提出している。そのため、ABACではメンバーエコノミーのABAC委員を集めた総会・各作業部会を年4回開催し、我が国を含むアジア太平洋地域のビジネス界の意見の集約を図っている。</p> <p>また、ABACは毎年外部監査機関による会計検査を行い、その結果をABAC総会に報告するとともに、各メンバーエコノミーにも共有する等、組織・財政マネジメント強化に努めている。</p>		
<p>(4) 成果目標: ABACにおける邦人のプレゼンスを維持強化する</p> <p>活動指標: ABAC日本委員の数とポスト</p>	<p>1996年の設置以来、現地採用のフィリピン人4名で運営されるABAC国際事務局(於: フィリピン)において邦人職員の採用は想定されていない。そうした中で、我が国については、各エコノミーの委員数上限枠と決められている3名の有力な委員を民間から出しており、夫々が5つのABAC作業部会のうちの3つの部会で部会長、副部会長を務めている。</p>		
<p>2. PDCAサイクルの確保</p>	<p>①計画段階(Plan): APEC各エコノミーの国際的な合意の下、定められた分担率等により拠出額を算出。ABAC総会において、ABAC事務局が提出する予算計画を精査・議論。予算計画が合意された後、我が国拠出額の予算要求を実施。②実施段階(Do): 予算拠出。年4回のABAC会合、ABAC委員とAPEC高級実務者との定期協議を通じて、ABACの活動をモニタリング。③評価段階(Check): ABACの首脳に対する提言書によりABAC活動を評価。また、外部会計監査機関による会計監査報告書により会計を評価。④フォローアップ(Act): ABAC委員とAPEC高級実務者との定期協議等の機会を通じて、必要に応じて改善を提言。</p>		
担当課・室名	経済局 アジア太平洋経済協力室		